環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ

環境側面	実施日 2021/3/12 状況 定常	非定常	緊急時・事故	実施日 2021/3/12 現状把握 主な使用(消費) 発生(排出)場所	環境報告書2020 より (MU-R-6.1.2-4 環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ転記)	記入日 2021/3/12 環境影響評価の基準(考え方)
1 エネルギー等の消費(インプット)						
1)電力の使用	○			上浜団地	(前年比87.6%)減 23,591,000 kWh	令和1年度の団地全体のエネルギー実績は、前年比増加(103.8%)している。
2)都市ガスの使用	○			上浜団地	(前年比98.4%)減 4,683,000 m3	令和1年度の団地全体のエネルギー実績は、コージェネレーションシステムの稼働が安定したため、前年比減少(96.0%)している。
3)プロパンガスの使用	○			研究過程	-	団地全体のエネルギーに占める学部のプロパンエネルギーの占める割合は、極小である。使用量の大半は実験用である。 構成員により、省エネが進んでいるが、実験回数の増減に影響がでるが、研究機会の阻害とならないためまた、影響が小さいと考えられる。
4)A重油の消費	○			施設部	研究室単位 少量使用	団地全体のエネルギーに占める学部の重油エネルギーの占める割合は、実績によると1割以下と少ない。また、学部のボイラーは冬の暖房用のみであり、使用者において省エネ管理が困難な設備形態である。
4)A重油の消費			○	施設部	(前年比46.8%)減 126 kL	団地全体のエネルギーに占める学部の重油エネルギーの占める割合は、実績によると1割以下と少ない。また、学部のボイラーは冬の暖房用のみであり、使用者において省エネ管理が困難な設備形態である。
5)灯油の消費	○			教育研究 (入試時)	(前年比33.3%)減 0.1 kL	入試の臨時(補助暖房)用燃料 使用量は団地全体のエネルギー割合において微量である。
6)ガソリン、軽油の消費	○			財務部	-	省エネ活動として、公用車の燃料等の管理をしている。
2 資源の消費(インプット)						
1)水道の使用	○			上浜団地	1年度(前年比94.8%)減 366,000m3／年	資源の消費は、構成員が制御可能な度合いにより、環境側面を判定した。 水の使用は主にトイレ洗浄、手洗い、実験用、冷却水などである。また、平成25年度より使用量増加に関しては、コージェネレーションシステムが補給水を使用することによる。
2)井戸水の使用	○			上浜団地	-	資源の消費は、構成員が制御可能な度合いにより、環境側面を判定した。 水の使用は主にトイレ洗浄、手洗い、実験用、冷却水などである。平成23年度から稼働する地下水供給プラントによる井水利用で節水効果が出ている。また、トイレは自動水洗、手洗いは節水コマの採用など設備面で省資源化を実施している。
3)雨水の利用	○			看護／ベンチャー	-	資源の消費にプラスの効果はあるが、雨水の利用は少ない。 構成員による制御形態でない。
5)紙の使用	○			学内全て	1年度(前年比99.5%)減 紙類173,511kg	資源の消費は、構成員が制御可能な度合いにより、環境側面を判定した。 紙の使用は、紙類及び再生紙共に減少している。
6)実験、研究用薬品 (毒劇汚物・PRTR試薬、液体窒素)の使用	○			教育過程／研究過程	1年度 (特定化学物質・第二種増加) 特定第一種指定化学物質: 369.5kg 第一種指定化学物質: 2,251.3第二種指定化学物質: 0.50kg	資源の消費は、構成員が制御可能な度合いにより、環境側面を判定した。 第1種指定化学物質および第2種指定化学物質の取扱量が削減できている。 薬品の使用はPRTR法、毒劇物法、危険物など法規制があり、法令順守が義務つけられる。 使用方法により、人為的な水質汚濁や土壌汚染に顕著に関連する。 研究えで用いる液体窒素も含める(H29度より)
6)実験、研究用薬品 (毒劇汚物・PRTR試薬、液体窒素)の使用			○	教育過程／研究過程	-	資源の消費は、構成員が制御可能な度合いにより、環境側面を判定した。 第1種指定化学物質および第2種指定化学物質の取扱量が削減できている。 薬品の使用はPRTR法、毒劇物法、危険物など法規制があり、法令順守が義務つけられる。 使用方法により、人為的な水質汚濁や土壌汚染に顕著に関連する。
3 新エネルギーの採用						
1)風力発電設備	○			上浜団地	令和元年度 (401.1kW)	新エネルギーの採用は、教育研究の一環である。 構成員が制御できる度合いは少ない。
2)太陽光発電設備	○			上浜団地	令和1年度全学(附属含む) 254kW	新エネルギーの採用は、教育研究の一環である。 構成員が制御できる度合いは少ない。
3)バイオマス設備	○			教育研究	-	新エネルギーの採用は、教育研究の一環である。 構成員が制御できる度合いは少ない。
4)エネルギー複合化設備 風力／バイオエタノール 等	○			教育研究	-	新エネルギーの採用は、教育研究の一環である。 構成員が制御できる度合いは少ない。
4 廃棄物の排出(アウトプット)						
1)可燃物	○			学内全て	1年度(前年比10015%)増 369.9トン	廃棄物の排出は資源の消費と密接に関係する環境側面であり、構成員が制御可能な度合いにより、影響評価を判定した。可燃物の減量は、環境負荷の低減に貢献できる側面である。紙の古紙リサイクルシステムの導入により削減傾向である。
2)不燃物	○			学内全て	1年度(前年比87.4%)減 20.8トン	廃棄物の排出は資源の消費と密接に関係する環境側面であり、構成員が制御可能な度合いにより、影響評価を判定した。リサイクル資源の活用として、分別収集が環境負荷の低減に貢献できる。 構成員による制御が可能が可能な側面である。
3)産業廃棄物	○			学内全て	1年度 廃プラスチック等:1245.0トン (前年比96.7%)減 感染性廃棄物:312.8トン(前年比106.1%)増	廃棄物の排出は資源の消費と密接に関係する環境側面であり、構成員が制御可能な度合いにより、影響評価を判定した。構成員による制御が可能な側面である。また、法令による順守が義務づけられており、適切な処分が必要である。
4)古紙類	○			学内全て	1年度(前年比82.6%)増 86.3トン	廃棄物の排出は消費の消費と密接に関係する環境側面であり、構成員が制御可能な度合いにより、影響評価を判定した。構成員による制御が可能な側面であるが、紙の使用量削減からの副次的側面であり、度合いは低い。
5)アスベスト廃棄物	○				附属病院(機械室など) 28年度含めすべて処分完了	アスベストの廃棄物は病院解体と共に除去処分、撤去工事が平成28年度に既に完了。
5 環境規制						
1)生活排水処理施設	○		○	上浜団地 (病院除く)	1年度(前年比88.2%)減 525,000m3	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 排水処理施設は適正な維持管理を行う必要がある。 放流水の水質異常が直接環境に影響を与える。
2)焼却炉(ダイオキシン)の運転	○			ー	排ガス-mg-TEQ/m3N 飛灰 ー 焼却灰 検出なし	平成26年度より総合地ボイラーの運転を停止したため、報告設備がなくなった。 環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。
2)焼却炉(ダイオキシン)の運転		○		ー	-	平成26年度より総合地ボイラーの運転を停止したため、報告設備がなくなった。 環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。
2)焼却炉(ダイオキシン)の運転			○	ー	-	平成26年度より総合地ボイラーの運転を停止したため、報告設備がなくなった。 環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。
3)ボイラーの運転	○			ー	-	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 ボイラーの運転は適正な運転管理を行う必要がある。 重油の使用量は全体のエネルギーに占める割合は少ないが、法令に基づく管理が必要である。
3)ボイラーの運転			○	ー	-	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 ボイラーの運転は適正な運転管理を行う必要がある。 重油の使用量は全体のエネルギーに占める割合は少ないが、法令に基づく管理が必要である。

環境側面	状況 定常	状況 非定常	状況 緊急時・事故	現状把握 主な使用(消費)発生(排出)場所	現状把握 環境報告書2020 より(MU-R-6.1.2-4 環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ転記)	環境影響評価の基準(考え方)
	実施日 2021/3/12			実施日 2021/3/12		記入日 2021/3/12
4)グリーン購入・調達	○			財務部 施設部	平成30年度調達量(21分野) 紙類173,510.9 kg 文具類298,135 個 オフィス家具等997 個 画像機器等576台(消耗品除く) 電子計算機等1,455 台(消耗品除く) オフィス機器等100 台(消耗品除く) 移動電話0 台 家電製品78 台 ｴｱｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ等42 台 温水器等1 台 照明1,961 本 自動車等2 台 タイヤ0 本 ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ0 L 消化器5 本 制服・作業服276 点 インテリア類441,303 枚 作業手袋3,367 組 その他繊維製品798 点 設備0 個 災害備蓄用品1,922 個 役務2,399 件	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 グリーン購入法は環境配慮を積極的に行うプラス面の側面である。 構成員の日常活動における度合いは少ない。
5)排風機・送風機の運転	○			学内全て	－	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動における関連度合いは少ない。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
5)排風機・送風機の運転		○		学内全て	－	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動における関連度合いは少ない。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
6)業務用空調機の冷媒 (フロン排出抑制法)	○			学内全て	－	平成27年4月より「改正フロン法」の施行が開始。学内にて簡易調査と定期調査を実施。 環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動におけるは大きくなった。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
6)業務用冷蔵機・冷凍機の冷媒 (フロン排出抑制法)	○			学内全て	－	平成27年4月より「改正フロン法」の施行が開始。学内にて簡易調査と定期調査を実施。 環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動におけるは大きくなった。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
8)PCBの保管	○			施設部	令和1年度 ・高圧ｺﾝﾃﾞﾝｻ:0kg ・柱上変圧器(低濃度):0kg ・ｺﾝﾃﾞﾝｻ(3kg以上)(低濃度):0kg、 ・ｺﾝﾃﾞﾝｻ(3kg未満):6.2kg、 ・蛍光灯安定器:12.6kg ・変圧器油(トランス油)(低濃度):0kg ・ドラム缶:0kg ・ウェスほか:0kg ・ウェスほか(低濃度):0kg ・金属製ポンプ(低濃度):0kg ・複合汚染物:128.6kg	平成29年度に保管分は処分。 文部科学省の指示により使用する実験機器の含有PCBを調査を行い令和2年度対応をする。
8)PCBの保管			○	施設部	－	平成29年度に保管分は処分。 文部科学省の指示により使用する実験機器の含有PCBを調査を行い令和3年度対応をする。
6 実験・研究関連						
有機溶剤:1・2-ジクロルエチレン(別名 二塩化アセチレン)	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:二硫化炭素	○			2研究室	二硫化炭素 960 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:アセトン	○			51研究室	アセトン 441108 ml 63284 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:イソブチルアルコール	○			1研究室	イソブチルアルコール 12 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:イソプロピルアルコール	○			44研究室	イソプロピルアルコール 130822 ml 489.2 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:イソペンチルアルコール(別名 イソアミルアルコール)	○			4研究室	″イソペンチルアルコール(イソアミルアルコール)″ 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:エチルエーテル	○			25研究室	エチルエーテル 258016 ml 3715 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:エチレングリコールモノエチルエーテル(別名 セロソルブ)	○			2研究室	エチレングリコールモノメチルエーテル 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(別名 セロソルブアセテート)	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル(別名 ブチルセロソルブ)	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:エチレングリコールモノメチルエーテル(別名 メチルセロソルブ)	○			使用なし	メチルセロソルブ 60 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:オルト-ジクロルベンゼン	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:キシレン	○			27研究室	キシレン 401218 ml 3076.6 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。

環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ

環境側面	実施日 2021/3/12 状況 定常	非定常	緊急時・事故	実施日 2021/3/12 現状把握 主な使用(消費)発生(排出)場所	環境報告書2020 より(MU-R-6.1.2-4 環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ転記)	記入日 2021/3/12 環境影響評価の基準(考え方)
有機溶剤:クレゾール	○			2研究室	クレゾール 72 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:クロルベンゼン	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:酢酸イソブチル	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:酢酸イソプロピル	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:酢酸イソペンチル(別名　酢酸イソアミル)	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:酢酸エチル	○			17研究室	酢酸エチル 207600 ml 11326 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:酢酸ノルマル-ブチル	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:酢酸ノルマル-プロピル	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:酢酸ノルマル-ペンチル(別名　酢酸ノルマル-アミル)	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:酢酸メチル	○			1研究室	酢酸メチル 12 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:シクロヘキサノール	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:シクロヘキサノン	○			使用なし	シクロヘキサン 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:N・N-ジメチルホルムアミド	○			7研究室	N・N-ジメチルホルムアミド 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:テトラヒドロフラン	○			14研究室	テトラヒドロフラン 50530 ml 2600 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:1・1・1-トリクロルエタン	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:トルエン	○			9研究室	トルエン 4080 ml 384 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:ノルマルヘキサン	○			22研究室	ノルマルヘキサン 167650 ml 26120 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:1-ブタノール	○			7研究室	1-ブタノール 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:2-ブタノール	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:メタノール	○			67研究室	メタノール 586500 ml 24411.2 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:メチルエチルケトン	○			1研究室	メチルエチルケトン 1200 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:メチルシクロヘキサノール	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:メチルシクロヘキサノン	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
有機溶剤:メチル-ノルマル-ブチルケトン	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第一類:ジクロルベンジジン及びその塩	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第一類:アルファ-ナフチルアミン及びその塩	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第一類:塩素化ビフェニル(別名PCB)	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第一類:オルト-トリジン及びその塩	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第一類:ジアニシジン及びその塩	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第一類:ベリリウム及びその化合物	○			1研究室	ベリリウム及びその化合物 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第一類:ベンゾトリクロリド	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:アクリルアミド	○			27研究室	アクリルアミド 600 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:アクリロニトリル	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:アルキル水銀化合物(アルキル基がメチル基又はエチル基である物に限る。)	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:エチレンイミン	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:エチレンオキシド	○			1研究室	エチレンオキシド 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:塩化ビニル	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:塩素	○			1研究室	塩素 3600 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:オーラミン	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:オルト-フタロジニトリル	○			使用なし	―	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:カドミウム及びその化合物	○			使用なし	カドミウム及びその化合物 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類:クロム酸及びその塩	○			使用なし	クロム酸及びその塩 0 ml 0 g	excelファイル:作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。

環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ

環境側面	実施日 2021/3/12 状況 定常	非定常	緊急時・事故	実施日 2021/3/12 現状把握 主な使用(消費)発生(排出)場所	環境報告書2020 より（MU-R-6.1.2-4 環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ転記）	記入日 2021/3/12 環境影響評価の基準（考え方）
特化物第二類：クロロホルム	○			45研究室	クロロホルム 122276.4 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：クロロメチルメチルエーテル	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：五酸化バナジウム	○			1研究室	五酸化バナジウム 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：コールタール	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：酸化プロピレン※新規（重量の1%を超えて含有するものに限る）	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：シアン化カリウム	○			1研究室	シアン化カリウム 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：シアン化水素	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：シアン化ナトリウム	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：四塩化炭素	○			使用なし	四塩化炭素 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：1・4-ジオキサン	○			9研究室	1・4-ジオキサン 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：1・2ージクロルエタン	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：三・三-ジクロロ-四・四-ジアミノジフェニルメタン（別名　二塩化メチレン）	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：1・2ージクロルプロパン	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：ジクロルメタン	○			16研究室	ジクロルメタン 291600 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：一・一-ジメチルヒドラジン※新規（重量の1%を超えて含有するものに限る）	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：臭化メチル	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：重クロム酸及びその塩	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：水銀及びその無機化合物（硫化水銀を除く。）	○			使用なし	水銀及びその無機化合物 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：スチレン	○			使用なし	スチレン 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：1・1・2・2ーテトラクロルエタン	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：テトラクロルエチレン	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：トリクロルエチレン	○			1研究室	トリクロルエチレン 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：トリレンジイソシアネート	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：ニッケル化合物（粉状の物に限る。）	○			4研究室	ニッケル化合物 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：ニッケルカルボニル	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：ニトログリコール	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：パラ-ニトロクロルベンゼン	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：砒素及びその化合物（アルシン及び砒化ガリウムを除く。）	○			1研究室	砒素及びその化合物 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：弗化水素	○			3研究室	弗化水素 3600 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：ベータ-プロピオラクトン	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：ベンゼン	○			4研究室	ベンゼン 252600 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：ペンタクロルフェノール（別名PCP）及びそのナトリウム塩	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：ホルムアルデヒド	○			43研究室	ホルムアルデヒド 247686 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：マゼンタ	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：マンガン及びその化合物（塩素性酸化マンガンを除く。）	○			3研究室	マンガン及びその化合物 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：メチルイソブチルケトン	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：沃化メチル	○			使用なし	―	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：硫化水素	○			2研究室	硫化水素 3600 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
特化物第二類：硫酸ジメチル	○			使用なし	硫酸ジメチル 0 ml 0 g	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。
粉じん	○			5研究室	数量把握なし	excelファイル：作業環境測定対象室一覧の「研究室一覧」シート、「有機一覧」シート、「特化物一覧」シートより転機。

環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ

環境側面	状況 定常	状況 非定常	状況 緊急時・事故	現状把握 主な使用(消費)発生(排出)場所	現状把握 環境報告書2020 より (MU-R-6.1.2-4 環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ転記)	環境影響評価の基準(考え方)
	実施日 2021/3/12			実施日 2021/3/12		記入日 2021/3/12
1)実験廃液の処分	○			国際環境教育研究センター 環境保全部門	令和1年度 水銀廃液 15 L シアン廃液 88 L 重金属系廃液 3,180 L ﾌｯ素ﾎｳ素ﾘﾝ酸 156 L 難燃性廃液 650 L ハロゲン廃液 295 L 可燃性廃液 4,364 L 写真定着液 54 L 有害固型廃棄物 375 kg	実験廃液の処分は適正な使用管理を行う必要がある。 産業廃棄物として法規制がある。一括処理を行っており、運用管理で対応する。
2)高圧ガス	○			教育過程／研究過程	―	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動における関連度合いは少ない。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
3)危険物の貯蔵	○			教育過程／研究過程	―	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動における関連度合いは少ない。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
3)危険物の貯蔵	○		○	教育過程／研究過程	―	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動における関連度合いは少ない。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
7 学内環境						
1)ゴミの分別	○			学内全て	―	学内5分類の分別
2)キャンパスクリーン作戦	○			学内全て	―	キャンパスクリーン作成の定期実施
3)放置自転車対策	○			学務部	―	放置自転車の削減(学内リサイクル自転車のシステムの活用)
3)放置自転車対策			○	学務部	―	放置自転車の削減
4)自動車通勤対策	○			全学全て	―	学内駐車場のアイドリングストップ啓発
8 建物関係						
1)新築	○			施設部	―	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動における関連度合いは少ない。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
2)改修・修理	○			施設部	―	環境規制に関する評価は、量の大小に関わらず、法規制の順守が必要である。 構成員の日常活動における関連度合いは少ない。 適切な維持管理が必要であるが、運用面で実施。
9 環境教育						
1)教養教育における環境教育	○			教育部門	―	環境教育の実施は、大学として積極的に実施をしていく。
2)学内外環境教育プロジェクトへの支援と連携	○			教育部門	―	環境教育の実施は、大学として積極的に実施をしていく。
3)科学的地域環境人材(SciLets)事業(学生対象)	○			教育部門 SciLets部門	―	環境教育の実施は、大学として積極的に実施をしていく。
10 環境研究						
1)重点課題の環境研究実施を奨励する	○			ｽﾏｰﾄｷｬﾝﾊﾟｽ部門／研究部門	―	環境研究の調査は、大学として積極的に実施をしていく。
2)環境分野の次期重点テーマに向けた調査	○			研究部門	―	環境研究の調査は、大学として積極的に実施をしていく。
11 社会貢献						
1)三重大学独自の環境主軸のUSR規範の検討と確率	○			国際環境教育研究センター 環境ISO推進部門	―	地域社会との連携は重要課題である。
2)キャンパス及びその周辺地域社会と学生のコミュニケ-ション力強化	○			国際環境教育研究センター 環境ISO推進部門	―	地域社会との連携は重要課題である。
12 業者の学内活動 ※ 平成26年1月から調査対象変更						
労働者・学生健康診断等	○			公益財団法人三重県健康管理事業センター	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入 放射性廃棄物集荷・廃棄業務	○			公益社団法人日本アイソトープ協会	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			一般社団法人化学情報協会	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			株式会社 栄屋理化	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			三重大学生活協同組合	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			株式会社三重ティーエルオー	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			スペクトリス株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			ダイトロン株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			三重綜合警備保障㈱	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			株式会社エピクエスト	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			株式会社睦コーポレーション	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			株式会社中部メディカル	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
廃棄物収集運搬・処理業務	○			株式会社吉野興産	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
地域イノベーションエコシステム形成プログラムの事業構想に係る調査。分析業務委託	○			有限責任監査法人トーマツ	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
事務システム保守業務	○			情報制御株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
建物清掃請負業務	○			株式会社 中央保健工業社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
建物清掃請負業務	○			株式会社 中央保健工業社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
機器・設備・装置等保守業務	○			東邦ガス株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
理化学機器の販売	○			オザワ科学株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品納入	○			シンリョー特機株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			有限会社マコト	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			カーネル	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			株式会社アトリス	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			東洋電機株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			東京エレクトロンデバイス株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
物品・サービス納入	○			有限会社 博進堂	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
納品、商談	○			理科研株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
電気・機械設備工事	○			日本ファシリオ株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
その他医業に関する業務	○			川瀬産業株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
その他の業務	○			太洋冷暖房設備株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
その他の業務	○			株式会社シーエナジー	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
その他の業務	○			株式会社マツザキ	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
その他の業務	○			谷建設株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
その他の業務	○		○	有限会社大村建設	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
その他の業務	○			株式会社植田電気工事事務所	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測

環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ

環境側面	実施日 2021/3/12 状況 定常	非定常	緊急時・事故	実施日 2021/3/12 現状把握 主な使用(消費) 発生(排出)場所	環境報告書2020 より (MU-R-6.1.2-4 環境側面ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ転記)	記入日 2021/3/12 環境影響評価の基準(考え方)
その他の業務	○			有限会社ティー・エム・シー	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
人材紹介	○			株式会社サンキュート	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
小売業(主にIT商品、家電、ソフト)	○			シンリョー特機株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
建設工事	○			日本ファシリオ株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
研究開発用機器(装置)	○			株式会社美和製作所	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
機器設備等賃貸借	○			富士ゼロックス三重株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
機器・設備・装置等保守業務	○			日本電子株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
機器・設備・装置等保守業務	○			日本電子株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
印刷物等の納入	○			有限会社アートピア	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測
移転作業	○			日本通運株式会社	令和2年度評価対象	利害関係者の環境活動の把握・影響の予測